

ヨコハマタイヤコーポレーションCSRレポート

事業内容: 自動車用タイヤの生産・販売
敷地面積: 422,000㎡
従業員数: 1,164人(2010年4月末現在)
所在地: 601 South Acacia Avenue, Fullerton, CA 92831, U.S.A.
工場所在地: 1500 Indiana Street, Salem, VA 24153, U.S.A.
相談苦情などの受付窓口: Environment Health and Safety Dept. Tel: +1-540-375-8209 Fax: +1-540-375-0226
 Neil Dalton, Director of Environment Health and Safety



社長ご挨拶



大石 貴夫

ヨコハマタイヤコーポレーションは、米国カリフォルニア州に本社組織と物流倉庫、バージニア州にセーラム工場、その他3カ所に物流倉庫を持つ製造販売会社です。セーラム工場では2007年3月よりISO14001の認証を取得しておりますが、電気・ガスなどの省エネルギー推進によるCO₂排出量削減、生産途中で発生する材料屑および製品屑の削減と廃棄物のリサイクル化、タイヤ原料として再生ゴムの採用などを進めてきた結果、2010年3月にロイド社による監査を経て認証の更新を完了しました。商品開発でも乗用車向けとして、タイヤの諸性能を維持したまま燃費向上を図った「AVID ENVigor」の開発・発売を開始しました。今後も環境貢献

商品を拡大していく計画です。またトラック用タイヤも燃費だけでなくケーシングの耐久性向上によってリサイクル性も向上させた「Z.environment」シリーズをラインアップしています。一方、YRCグループの取り組みとして、2009年4月に、セーラム工場で「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの植樹祭を開催し、2010年4月には第2期の植樹を実施しました。さらに、本社オフィス(カリフォルニア)における植樹(2010年11月予定)の準備を開始しており、環境に対する取り組みは多方面で継続しております。米国でも環境に対する意識は非常に高まっており、お客さまに認めていただける一流企業として存在価値を高めるためには、収益向上はもとより、高いレベルの環境貢献企業になる必要があります。今後も積極的に環境および社会貢献に努めながら事業活動に取り組んでいきます。

環境への取り組み

2010年度環境方針

ヨコハマタイヤコーポレーションは、環境と地球環境の保護に努める。そのため、Reduce(産廃物の削減)、Reuse(再利用)、Recycle(リサイクル)への取り組みを通じて材料と資源の効率的かつ効果的な使用を図る。

環境マネジメントシステムの目的

- (1) 事業活動において環境に配慮した施策に取り組む。
 - (2) 環境マネジメントシステムを構築し、強化し、継続的な改善活動と最適な技術、コスト効率の高い解決策によって環境汚染の防止に努める。
 - (3) 法律やその他の環境要求事項に従う。
 - (4) 産廃物の削減やリサイクル、再利用などの活動を通じて汚染防止目標を設定することで、持続可能なリサイクル社会の構築に貢献する。
 - (5) 省エネルギー、エネルギー効率性の改善、再生可能なエネルギーの優先利用によって地球温暖化防止に努める。
 - (6) ステークホルダーの環境福祉の継続と保護のため、従業員に対し環境に関する意識向上のため、環境情報の提供と教育・訓練を実施する。
 - (7) ビジネスプロセス、製品、事業活動の継続的な改善に努める。環境マネジメントシステムに基づいた目標値を設定し、年一回見直しを行う。
- 従業員および全ての関係者は、上記の方針に従い、環境、健康、安全に関するあらゆる懸念事項を報告し、経営陣は迅速に対応する。

環境データ (年度は1月～12月)

温室効果ガス排出量は、省エネ活動により少しずつ減少しています。水使用量は、管理状態となり、着実に低減されています。

項目	2007年度	2008年度	2009年度	
廃棄物発生量(t)	2,420	2,820	2,956	
埋立率(%)	—	49	42	
エネルギー使用量 (原油換算:千kl)	電力	22.3	21.5	20.7
	燃料	7.8	11.3	11.2
	合計	30.1	32.8	32.0
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	67	69	67	
水使用量(千m ³)	199	189	171	
有機溶剤排出量(t)	—	48	36	

※2009年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用。

安全への取り組み

ヨコハマタイヤ ボランティア レスキュー隊 (Yokohama Tire's Volunteer Rescue Squad)

ヨコハマタイヤ ボランティア レスキュー隊はBLS(Basic life Support)という州のライセンスを取得しており、18人の従業員がこれに所属しています。何も無いことが望ましいですが、工場内での万が一の事態に備え、年に2回の訓練を実施しています。



ヨコハマタイヤ ボランティア レスキュー隊

Fall Waterway Cleanup

2009年10月Clean Valley Council Fall Waterway Cleanup活動に参加しました。工場のすぐ近くを流れるRoanoke Riverでのゴミ拾いを実施。一部のメンバーは川の中まで入ってゴミの撤去を行いました。



Fall Waterway Cleanup

地域社会とのコミュニケーション

これまで寄せられた主なご意見と対応内容

2009年度は、地域住民の方から騒音2件とカーボン汚染1件の計3件のご指摘をいただきました。

個々に対策を実施いたしました。今後も地域住民の皆さまに安心していただけるよう管理、改善を進めてまいります。



W. Salem小学校でのポット苗の作製

2009年11月Forever Forestの活動として、近隣の小学校に行き、ポット苗の作製や私たちの活動の意味を子どもたちへ伝え、Yokohamaグループの環境活動の展開の一助としました。



セーラム工場での第2期植樹祭

2010年4-5月 3日間に分けて、セーラム工場でのForever Forest Phase IIを実施しました。近隣の小学校(South Salem, West Salem Elementary School)の子どもたちを招き、トータル2,000本のレッドオーク、チェスナッツ、シュガーメイプルを植樹しました。



参加従業員の声：Tim Fretwell

日本文化に触れることのできる良い機会となり、家で子どもたちとリサイクルを始めるきっかけにもなりました。自分が携わったものが形として残る喜びがあり、地球規模の環境へも関心を持つようになりました。